

## 佐久の社会福祉施設のあり方について

22.2.25

私は、  
です。家族の介護のため、時々帰省しております。福祉職に従事していることと、社会福祉法人が多い東京にいるため、参考になればと思い意見を寄せました。

### 1. 素案を読んだ感想

いままで各市町村の行政でなされていた、社会福祉施設の運営を、今の世の中の趨勢（素案資料によると、90%と書かれているが）という趣旨のもと、住民の意向・希望等がまず確認されることなく、施設の設置・運営主体の社会福祉法人への移管を進めていくという案が、最初に出されていることに、強い異議を感じます。

また、佐久広域連合の対象施設は広範囲、多数ありますので、まとめて考える方式は危険だと感じます。

ぜひ、基本に帰り、どういう施設がその地域に欲しいのか、まず、住民の声を聞き、そこから案を練り、その上で施設の建て替え問題と組み合わせ、さらに公的な機関である佐久広域連合の役割を再検討していく慎重さとバランスが必要だと思います。

確かに、行政改革で自治体が施設運営を直接行う必要性はない、ということになって来ました。が、だからといって、検討がされないまま社会福祉法人で運営をとというのは、少し短絡的だと思います。まず、最初に住民の声が大切です。最初から結論が出ていると、選択肢と意見の幅が狭くなってしまわないでしょうか。

### 2. 社会福祉法人だから、いいの？

ここには、社会福祉法人だったら、どうしていいのかの視点が欠けています。社会福祉法人でも、ピンからキリまであります。いい社会福祉法人もあれば、悪い(?)社会福祉法人もあります。東京のように社会福祉法人が列挙しているところは、質の競争もおこり、まだいいのですが、とかく親方日の丸で、行政のすることはそのまま受け入れ、福祉文化を住民で作ることが少ない地域特性の佐久においては、住民主体の自発的な動き作りが、まず必要だと思います。

佐久においては、措置型の公共福祉が中心であったため、社会福祉法人運営(民間)になるだけで、広域連合の時(公共)よりサービスが格段よくなるでしょう。だから運営の社会福祉法人に移管する案は、きっと問題にはならないでしょう。また、佐久のお年寄りも、社会福祉法人も行政の施設も同じに見えるでしょう。しかし、だからそれでいいのでしょうか？

今、福祉は革命が起きています。佐久広域連合から社会福祉法人に変わるだけなら、器が違うだけで、本質は変わらないと思います。今、佐久に立て替え問題が起きているなら、この新しい福祉の流れに合わせることを、考えていかねばなりません。微妙な感覚のこれをしっかり認識しないと、措置の時代と同じようになり、佐久の福祉は進歩しない危険があります。

### 3. 問題もあるユニット型

併せて、素案に「ユニット型だったら、国の施設整備補助の対象うんぬん」の記述がありましたが、ユニット・ケアに対し、「果たしていいのだろうか」などの検証もなく、その姿勢は危惧されます。金感覚に基づいた素案だと思います。

なりものいりでスタートしたユニット・ケアですが、職員を充分置かない現在の我が国の配置状況では、かえって弊害が出ていることに、佐久広域連合は留意されていますか？

ユニット・ケアは確かに個人の尊厳を守り、良いのですが、なにぶんコストがかかり、国全体で経済が疲弊している時、また、個人負担の高いユニット・ケアでは利用できない住民が多く出るだろうとも思えます。そのことの吟味もなく、「新施設は、整備補助があるからユニット型建設で」という考え方だけでいいのかと危惧します。ましてや措置施設だった等のいままでの経緯があります。それらを充分検討して、ユニット型施設に言及してほしいと感じます。簡単にユニットと言わないでください。

そうしないと、結局は、物言えないお年寄りの意に沿わぬ施設になり、ただ制度の犠牲にさせてしまうと思うのです。

「長生きするもんじゃねえ」という言葉が、東京より田舎（佐久）のほうで聞かれるのは悲しいし、なにかを象徴しています。

### 4. 新しい福祉観の時代である

古くなった各施設をどうするかを考えている折に、こういう大きなテーマで言われると、困われてしまいそうですが、まず、それをしっかり踏まえないといけないと思います。社会福祉法人に任せるから、あとは関係ない、そちらに期待するというだけでなく、導き、常に検証する為に、この新しい福祉の流れを認識していることは、大切だと思います。いろいろあります。

- ① 住民主体の視点……自己決定、自立、自分らしく住みたい 等
- ② 地域福祉の時代……地域で支える、地域の中で生きる／行なう、地域密着、協働、共生 等
- ③ ジェネリックの視点……全体を支える
- ④ ミッション（使命）の大切さ →法人（施設）理念
- ⑤ 新しい支援スタイル……ストレングス視点、エンパワメント・アプローチ  
対等 環境の関係調整 等

施設というのは、結局収容的な意味合いがどうしてもあり、スウェーデンはたとえ、重度の方でさえ、なくなりました。日本では、まだまだ、需要のほうが多く、必要になっていますね。

私はふるさとを思うとき、基本的に佐久は農村婦人や男性が多いので、人や行政にあまり頼らずしっかりと自分で生きてきたライフスタイルを持っているので、生き方のバリエーションは少ないので、「終の棲家」を施設で過ごすことは理解できず、つらく感じる人が多いのではと考えます。私は、結局、施設といのものは都市型の発想ではないかとは思っています。

だから、佐久の施設は、より支援力をつけて、その矛盾を克服しなければならないと思います。

### こんな施設／政策を期待

私から見て、福祉がとて素晴らしい自治体は、住民と自治体自身が努力しているところです。秋田県の鷹巣町（現 北秋田市 市町村合併後は残念ながらダウン）、千葉県のユーカーが丘、東京では世田谷区がいいです。ぜひ、佐久にも今回の立て替え需要を機会に、『福祉田園都市、佐久』をめざしてほしいです。佐久なら、やれますよ。

佐久は、まことに素朴な人たちが住む、風光明媚な地域です。皆一生懸命働いて生きてきた地域です。そこに合わせた素晴らしい施設を、最初はたいへんだけど、皆で一步一步作りませんか。政権が変わり、箱物ではなく、住民主体のソフト作りが重視されています。切り替えるいいチャンスだと思います。皆で、がんばって作ったら、後世の人に喜ばれますよ。佐久市は最近、お年寄りが長生きする地域として、注目されています。そこに、良い福祉の街づくりがされていなかったら、ちょっとはずかしいです。

私は、アイデアの一つとして、他の目的の施設と組み合わせるオープンな複合施設を提案します。その必要に応じ、たとえば、保育所と特別養護老人ホームの組み合わせなど。一般の人が集まる何かを、施設の一部にくっつけるなど。

また、佐久には、ぜひ自立の在宅生活支援のために、ディサービス分野の研究を深め、より高い内容のものにしてほしいと要望します。自立支援型のディサービス、デイ・ケア機能が、佐久は少し弱いかもしれません。山口県に夢のみずうみ村というユニークなディサービスセンターがあります。要介護5の方が要介護2になったというようなこともしばしばおこります。こんな奇跡をおこしちゃう社会福祉法人をどんどん真似しちゃいましょう。どんどん見学に行きましょ。そして、バランス良く、暮しよい施設を作っていましょ。

## 6. 人材主義の佐久へ

佐久が福祉の地域として、定着していくためには、公共か、社会福祉法人かの視点でなく、とどのつまり人、『人材主義(意識)』だと思います。ややもすると、佐久人は大人しく、やや受け身的で、公共なことには積極的に参加してこなかった地域だと認識しています。

サービスは上から下りてくるものでした。しかし、世は急に地域密着の世の中になってきました。佐久の人には苦手なことが、主流になってきました。東京にいて、いい福祉とは、人の思い、願い、いい理念から出てくると実感します。私が言いたいのは、これです。そのためには、『人』だと思います。

福祉関係者、市町村職員、佐久のあらゆるところが、福祉は人と認識し、人材主義に徹することが大切かと思えます。安定志向の動機ではなく、ミッション(使命)型の人材を優先して採用していくことが、佐久の未来/福祉には大切かと思えます。福祉は、施設という形から始まるのでなく、人という無形から始まると、信じています。

佐久は、信越線から奥まった農村地帯から、今や新幹線が通り、高速道路もやがて2本交わろうという開かれた地域に変貌しつつあります。当然、視野を広くしなければなりません。施設作りにも、日本と外国の他所を研究し、専門家のユニークな意見を聞きつつ、気概を持って、考えていって欲しいです。

## 7. 結論

“佐久の福祉とは、なんですか？”“佐久の人は、福祉をどう考えているのですか？”  
私は、そう問いかけます。その問いかけと答え、そこからしか、佐久の、新しい福祉は始まらないと思います。どうぞ、佐久にお年寄りのいい施設を作ろうという気概から、考えて欲しいのです。「建て替えだから運営移管を。その方が時代に合っている。合理的である。」という流れでなく。自分の親の住むところ、または、子が住むところ、自分が将来暮らすところの意識をもって、考えてほしいと思います。措置の時のような、意識があれば、いい施設はできないでしょう。

新しい福祉の考え方とのバランスをとって、考えていって欲しいとおもいます。さもないければ、できたときに、需要と合わない八ツ場ダムみたいになっちゃいます。私は、佐久をととても愛しています。私は、提案します。そして、応援します。

みんなで 佐久の新しい福祉時代を作ろう

(締切のため、急いで作成したため、下手な表現が多く、どうぞお許してください。)